

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ言語文化コース 教授
氏名 Name	藤元優子
専門分野 Academic Field	イラン現代文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	現代イラン女性作家に関する研究
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度より研究代表者として開始した科研基盤研究 (C)「1980 年代から 2000 年代のイランにおける女性小説の研究」の研究計画に基づき、本年度は先行研究の批判的検討と 1970 年代までの女性作家の作品のジェンダー論的考察を行い、とくに近年出版された研究文献を入手し、精査した。その成果の一部を、「物書く女たちの系譜——イラン現代文学と女性作家——」（學士会会報 934 号）に寄稿した。後者については、S.ダーネシュヴァルと Sh.パールスィープール、G.タラッキーの 70 年代までの作品を読み返し、研究資料を作成した。 2. 研究分担者となっている科研基盤研究 (B)「現代中東の「ワタン（祖国）」的心性をめぐる表象文化の発展的研究」の 6 月開催の総括シンポジウムにおいて Sh.パールスィープール作品に関する発表を行い、最終年度を迎えた本科研の成果報告書『ワタン（祖国）とは何か 中東現代文学における Watan/Homeland 表象』に論文「女たちのサンクチュアリと祖国——『男のいない女たち』に見る小説と映画の間——」を寄稿した。 3. 女性小説研究の資料となる翻訳「ファリーバー・ヴァフィー著『私の鳥』——翻訳と解説——（前編）」を『イラン研究』15 号に発表した。 4. 連携研究者となっている科研基盤研究 (A)「イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究」の研究会に参加し、企画シンポジウム「記憶と記録からみる女性たちと 30 年——装いにうつるイスラームとジェンダー——」（2018 年 7 月 8 日開催）のパネルディスカッションで、「革命後のイラン女性とヒジャーブ」と題する発表を行った。 5. 9 月中旬にイランに 2 週間出張し、資料収集と研究打合せを行った。 	